

平成 27 年度

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

学校法人茶屋四郎次郎記念学園

事業報告書

学校法人茶屋四郎次郎記念学園

東京福祉大学・大学院

東京福祉大学短期大学部

学校法人茶屋四郎次郎記念学園

平成27年度事業報告書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

法人の概要

1. 法人の名称 学校法人茶屋四郎次郎記念学園
2. 事務所の所在地 東京都豊島区東池袋四丁目23番1号
3. 設置する学校

①東京福祉大学社会福祉学部	社会福祉学科 保育児童学科
②東京福祉大学教育学部	教育学科
③東京福祉大学心理学部	心理学科
④東京福祉大学大学院(M、D)	社会福祉学研究科 心理学研究科 教育学研究科
⑤東京福祉大学短期大学部	こども学科
⑥東京福祉大学通信教育部	社会福祉学部、教育学部、心理学部、 大学院(M)、短期大学部

4. 学生数等

①学生数

東京福祉大学

学部・学科名	入学定員	入学者数	収容定員※1	在籍学生数
社会福祉学部・ 社会福祉学科	270名	311名	1,110名	1,295名
保育児童学科	300名	172名	1,260名	898名
教育学部・教育学科	300名	278名	1,260名	1,286名
心理学部・心理学科	200名	194名	830名	758名
計	1,070名	955名	4,460名	4,237名

東京福祉大学大学院※2

研究科名	入学定員	入学者数	収容定員	在籍学生数
社会福祉学研究科	23名	23名	49名	46名
心理学研究科	13名	8名	29名	22名
教育学研究科	10名	17名	20名	37名
計	46名	48名	98名	105名

東京福祉大学短期大学部※3

学部・学科名	入学定員	入学者数	収容定員	在籍学生数
短期大学部・こども学科	50名	34名	150名	107名

東京福祉大学 通信教育課程※4

学部・学科名	入学定員	入学者数	収容定員※1	在籍学生数
社会福祉学部・ 社会福祉学科	520名	246名	2,705名	803名
保育児童学科	100名	62名	880名	256名
教育学部・教育学科	300名	82名	1,880名	379名
心理学部・心理学科	300名	146名	1,925名	640名
計	1,220名	536名	7,390名	2,078名

東京福祉大学大学院 通信教育課程

学部・学科名	入学定員	入学者数	収容定員	在籍学生数
社会福祉学研究科	70名	13名	140名	36名
心理学研究科	20名	7名	40名	24名
計	90名	20名	180名	60名

東京福祉大学短期大学部 通信教育課程※3、4

学部・学科名	入学定員	入学者数	収容定員	在籍学生数
短期大学部・こども学科	300名	171名	900名	356名

※1 収容定員には編入学者数を含んでいる。

※2 大学院は博士課程前期・後期を合算している。

※3 短期大学部は平成28年4月より2年制課程を新たに設置。

※4 通信教育課程(学部・短大)は、正科生の春期入学学生並びに秋期入学学生及び編入学学生を含んでいる。

(参考:平成27年度学校基本調査)

②卒業生数(平成28年3月24日卒業)

東京福祉大学

学部・学科名	卒業生数	国家試験等合格者数		就職率等
		社会福祉士国家試験 精神保健福祉士国家試験	教員採用試験	
社会福祉学部・ 社会福祉学科	344名	85名	1名	95.7%
保育児童学科	255名	0名	4名	98.0%
教育学部・教育学科	327名	0名	43名	96.7%
心理学部・心理学科	182名	22名	4名	92.7%

東京福祉大学大学院

研究科名	卒業生数	国家試験等合格者数 (臨床心理士試験)
社会福祉学研究科	8名	1名
心理学研究科	9名	3名
教育学研究科	17名	1名

東京福祉大学短期大学部

学部・学科名	卒業者数	教員採用試験	就職率等
短期大学部・こども学科	32名	0名 (受験者0名)	100%

※平成28年5月6日現在の就職率。

※就職率は、内定者/就職希望者の割合。

※内定者は正規、非正規、一時的な仕事に就いた者の合計。

東京福祉大学 通信教育課程

学部・学科名	卒業者数	国家試験等合格者数	
		社会福祉士国家試験 精神保健福祉士国家試験	教員採用試験
社会福祉学部・ 社会福祉学科	141名	社会福祉士 50名	0名
保育児童学科	34名	精神保健福祉士 40名	1名
教育学部・教育学科	73名	※試験センター発表による 新卒者の合格者合計数	10名
心理学部・心理学科	75名		0名

東京福祉大学大学院 通信教育課程

学部・学科名	卒業者数	国家試験等合格者数 (臨床心理士試験)
社会福祉学研究科	6名	1名
心理学研究科	4名	3名

東京福祉大学短期大学部 通信教育課程

学部・学科名	卒業者数	教員採用試験
短期大学部・こども学科	117名	9名

③留学生日本語別科学生数 1,015名(平成27年5月1日現在)

5. 役員及び評議員

理事 9名、監事 2名、評議員 28名

6. 教職員の状況(平成27年5月1日現在)

教員数 ①東京福祉大学社会福祉学社会福祉学科 44名
 ②東京福祉大学社会福祉学部保育児童学科 40名
 ③東京福祉大学教育学部教育学科 37名
 ④東京福祉大学心理学部心理学科 26名
 ⑤東京福祉大学短期大学部こども学科 13名
 計 160名

*東京福祉大学大学院ならびに通信教育部の教員は全員兼担。

職員数 計 279名

7. 土地及び建物の状況

①土地の状況

校地	47,267.89 m ² (276.88 m ² は借地権で3,306.00 m ² は借地)
グラウンド	23,316.00 m ² (8,480.00 m ² は借地)

②建物の状況

校舎	47,221.43 m ² (16,894.48 m ² は賃貸)
----	---

教育体制の概要

1. 教育体制について

①東京福祉大学短期大学部2年制専攻開設について

平成28年4月より通学課程・通信教育課程ともに2年制専攻を開設するにあたり、文部科学省高等教育局大学振興課短期大学係に「学則の変更届」、文部科学省初等中等教育局教職員課免許係に「東京福祉大学短期大学部課程認定申請書」を提出した。

②設置計画履行状況等調査(AC)による学則の変更について

平成28年2月29日付で、平成27年度の設置計画履行状況等調査(AC)の結果が発表、通知され、東京福祉大学は誠に遺憾ながら「警告」の是正意見が出された。このことについて、文部科学省を訪問し、担当官と打ち合わせを行い、調整を行った上で学則を改正し、「東京福祉大学 教育課程及び履修方法に関する規程」を新たに設け、科目変更等の経緯を明記し、改善を図った。

③幼保特例講習の増開設について

「保育士資格取得」「幼稚園教諭免許状取得」のための保育教諭特例講座を池袋キャンパス昼間部通学課程で開設し、平成27年度は12月に冬期集中講座(6日間)、1月～3月に冬期土曜講座(6日間)を開講した。開講にあたり、文部科学省教職員課免許係へ「特例講座開設状況調査票」を、東京都知事(関東厚生局宛)へ「保育士資格取得特例科目開設届進達依頼文書」を提出した。

④授業科目のオリジナル教科書について

本学の通学課程及び通信教育課程の学生を対象に、社会保障論のオリジナル教科書を作成した。教科書の編集・発行を外部の出版社に依頼すると費用が高くなり、学生に大きな経済的負担をかけることになるため、3年分を一括で製作することで印刷経費を軽減し、教員・職員人件費、コピー代等の諸経費、印刷製本費用の合計金額とほぼ同額の費用が賄える金額で価格設定し、「東京福祉大学出版会」の名称で3月に刊行した。

⑤東京福祉大学短期大学部の第三者評価の適合判定について

平成24年度に東京福祉大学短期大学部の受審した第三者評価(一般財団法人短期大学基準協会)は、適格認定であったが、「基準IVリーダーシップとガバナンス」の一部に問題が認められるため、当該指摘事項について平成27年6月30日までに改善状況を報告し、改めて判断を行うこととする条件が付されており、当該指摘事項について、平成27年6月26日付で改善状況報告書を提出し、一般財団法人短期大学基準協会によって問題点が改善されていることが確認され、平成28年3月11日付で改めて適合判定となった。

2. 教育施設の整備拡充

1) 池袋キャンパスの施設整備について

池袋キャンパスの施設整備として、下記物件を賃借契約によって取得した。

名 称	池袋キャンパス 9 号館
所 在	東京都豊島区南池袋二丁目 16 番地 4、16 番地 12
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根地下 2 階付 5 階建
延床面積	4,213.62 m ²
用 途	教室及び事務室等

2) 理科実験実習室の設置

短期大学部 2 年制専攻開設に伴う小学校教諭二種免許状課程認定申請の際、理科実験実習室を設置するよう文部科学省より指摘を受けたことを踏まえ、伊勢崎キャンパス 2 号館 2 階、池袋キャンパス 4 号館 5 階を改築し、理科実験実習室を設置した。

3) スタディールームの設置

池袋キャンパス 9 号館 3 階にスタディールームを設置し、通信教育課程で DVD を視聴し、視聴した内容を踏まえて課される課題を後日提出し、合格することによりスクーリング単位を修得することが可能となった。授業に出席し、すでに単位を修得済みの場合であっても、DVD を視聴し復習に役立てることも可能となった。

4) 学生用駐車場の舗装工事について

伊勢崎キャンパス 5 号館横駐車場、2 号館裏駐車場の舗装工事を実施した。5 号館横駐車場には 73 台、2 号館裏駐車場には 50 台が駐車可能で、2 号館裏駐車場のうち 3 台を障害者等用駐車場とした。

5) 伊勢崎キャンパス本館・1 号館の空調(蓄熱式空調システム)入替

伊勢崎キャンパス本館・1 号館の既存設備の受託契約期間満了に伴い、新規受託契約と共に熱源機の入替を実施した。工事は、平成 27 年 9 月に開始し、平成 28 年 1 月に完了した。工事期間中の平成 27 年 11 月より、新熱源機での暖房運転が開始された。受託契約期間は、平成 27 年 3 月 1 日から平成 44 年 2 月 29 日までとなっている。

3. スクールバス運行形態の変更と増便について

伊勢崎キャンパスで運行しているスクールバスを利用している方の利便性向上のため、平成 27 年 4 月 1 日よりスクールバス運行形態を変更した。伊勢崎キャンパスが運行しているスクールバスに代わり、大学が費用を負担し準備する特殊定期券を利用することによって、国際十王交通が運行する一般乗合(路線)バスを、学生、教職員が自己負担なしで利用できるようになった。

その他事業の概要

1. 国際交流の概要

① アメリカ夏期短期研修について

アメリカ夏期短期研修が平成 27 年 7 月 13 日から同 8 月 6 日まで A、B、C の 3 コースに分かれ実施された。ニューヨークのフォーダム大学、ボストンのハーバード大学キャンパスでの講義受講や福祉施設見学や学校訪問など、現地でなければできない貴重な体験をした。

また、講義や施設見学等に加え、観光やミュージカルの鑑賞等も行われ、有意義で充実した

時間を過ごした。研修期間中、学生は、毎日がとても充実していて、たくさんのことを吸収しながら楽しく学習を行った。

- ②平成 28 年 1 月 26 日～2 月 3 日、台湾からの短期留学を受け入れた。また、平成 28 年 2 月 26 日に中国瀋陽市の幼稚園の園長、園児およびその保護者からなる訪問団を受け入れ、日本の幼稚園との交流、本学学生との交流行事を企画・実施した。
- ③学内外で国際交流活動を行うことを目的とした奨学生として平成 26 年 9 月より受け入れた東欧からの留学生を中心に、日本人学生との交流活動を展開している。
- ④台湾の大学 1 校、高校 2 校、中国の大学 4 校、モンゴルの大学 1 校との協定を結ぶため事前協議を重ねた。(台湾の大学・高校は平成 27 年 5 月 14 日協定締結、モンゴルの大学は平成 27 年 10 月 13 日協定締結、中国の大学との協定締結は次の通り;安徽三聯学院…平成 27 年 10 月 6 日、揚州大学…平成 27 年 10 月 13 日、内モンゴル大学…平成 27 年 12 月 10 日、洛陽師範学院…平成 27 年 12 月 22 日)
- ⑤中国無錫市民生局と本学間で、同市の福祉発展事業に本学が貢献していくことを目的とした合意書を平成 27 年 12 月 11 日付けで締結した。

2. 地域貢献の概要

①伊勢崎市教育委員会との協定に基づく教育等支援について

伊勢崎市内の小・中学校 35 校を対象に、教職を希望する学生延べ 161 名がボランティアリーダーとして活動した。内訳は以下のとおり。

夏休みの勉強塾ボランティア	100 名
保健室ボランティア	40 名
通常ボランティア	21 名

活動先の小・中学校からは大変感謝され、毎年の継続を強く要望されている。

②公開講座について

広く市民等に公開されている本学の公開講座は、すでに恒例行事となっている。

年ごとに規模も拡大・充実されてきており、伊勢崎キャンパスの公開講座は次のとおり開講された。なお、名古屋キャンパスの公開講座は 5 講座開講された。

『伊勢崎キャンパス公開講座』

講座数	12 講座
開催日数	述べ 6 日間
参加人数	述べ 837 名

(伊勢崎市高齢福祉課との連携公開講座)

講座数	1 講座
開催日数	1 日
参加人数	175 名

(伊勢崎市教育委員会との連携公開講座)

講座数	6 講座
開催日数	6 日
参加人数	330 名

『特別支援教育専門性向上公開講座』

講座数	9 講座
開催日数	3 日
参加者	述べ 166 名

③留学生の地域行事参加

豊島区ふくし健康祭りに大学として留学生を中心に出席した。

④災害時における避難場所としての使用に関する協定について

新体育館改築に向け、本学と伊勢崎市との間で「災害時における避難場所としての使用に関する協定」を締結した。

3. 各委員会の活動概要

平成 27 年度の開催状況は次の通り。教育研究評議会が 8 回開催、各全学委員会の開催状況は、全学総務委員会 8 回、全学教務委員会 11 回、全学学生支援委員会 10 回+臨時 1 回、全学入試管理委員会 19 回、通信教育委員会 15 回、自己点検評価委員会 2 回、国際交流センター運営委員会 6 回、図書館運営委員会 7 回、日本語別科委員会 14 回、将来計画委員会 2 回、財務委員会 3 回、衛生委員会 9 回、保健管理センター運営委員会 8 回、情報システム運用センター運営委員会 2 回(情報システム運用センター運用会議 3 回)。

全学委員会の各専門部会の開催状況は、倫理不正防止専門部会 5 回、セクシュアル・ハラスメント等対策専門部会 5 回、学会誌等編集専門部会 10 回、地域連携推進専門部会 5 回、ファカルティ・ディベロップメント専門部会 10 回、福祉実習専門部会 9 回、教育実習専門部会 6 回、教養教育専門部会 5 回、キャリア教育専門部会 6 回、研究奨励専門部会 7 回、アカデミックアドバイザー支援専門部会 7 回、カリキュラム編成専門部会 9 回、赤城山宿泊研修実行専門部会 6 回、学生生活支援専門部会 6 回、学生団体支援専門部会 4 回。

各作業部会の開催状況は、危機管理対策作業部会 2 回、広報誌編集作業部会 4 回。

全学委員会、各専門部会、各作業部会の活動状況は、全体ミーティングで全教職員に発表され、全体での情報の共有と課題への意識づけがなされている。

4. 学事の概要

①入学式	平成 27 年 4 月 7 日
②春期オリエンテーション	平成 27 年 4 月 1 日～4 月 7 日
③春期授業開始日	平成 27 年 4 月 8 日
④創立記念日	平成 27 年 6 月 26 日
⑤赤城山宿泊研修	平成 27 年 5 月 30 日～7 月 23 日
⑥アメリカ夏期短期研修	平成 27 年 7 月 13 日～8 月 6 日
⑦春期授業終了日	平成 27 年 9 月 16 日
⑧春期期末試験	平成 27 年 9 月 17 日～9 月 26 日
⑨秋期オリエンテーション	平成 27 年 9 月 29 日～10 月 2 日
⑩秋期授業開始日	平成 27 年 10 月 5 日
⑪合同スポーツデー	平成 27 年 10 月 15 日
⑫学園「千輝祭」(伊勢崎)	平成 27 年 10 月 31 日～11 月 1 日
⑬学園「千輝祭」(名古屋)	平成 27 年 11 月 7 日～11 月 8 日
⑭学園「千輝祭」(池袋、王子)	平成 27 年 11 月 14 日～11 月 15 日
⑮秋期授業終了日	平成 28 年 2 月 12 日
⑯秋期期末試験	平成 28 年 2 月 15 日～2 月 19 日
⑰卒業式	平成 28 年 3 月 24 日

法人運営の概要

1. 理事会・評議員会の開催状況

①第1回理事会・第1回評議員会（平成27年5月25日開催）

【理事会】

<審議事項>

- 第1号議案 平成26年度事業報告及び平成26年度決算について
- 第2号議案 評議員の選任等について
- 第3号議案 学則等の変更について
- 第4号議案 労働審判の和解（調停）について

<報告事項>

- 第1号 校地の使用用途変更について
- 第2号 理科実験実習室の設置について

【評議員会】

<報告事項>

- 第1号 平成26年度事業報告及び平成26年度決算について
- 第2号 校地の使用用途変更について
- 第3号 理科実験実習室の設置について

<審議事項>

- 第1号議案 学則等の変更について
- 第2号議案 評議員の選任について

②第2回理事会（平成27年6月1日開催）

<審議事項>

- 第1号議案 複数の事件を引き起こし退職した元理事長が本法人の経営に関与していないことを本法人内部および外部へ周知することについて

<協議事項>

- 第1号 短大認証評価の改善報告について

③第3回理事会（平成27年6月23日開催）

<報告事項>

- 第1号 告訴の件について
- 第2号 学友会会則について
- 第3号 代々木ゼミナール池袋校舎の賃貸借契約について

<審議事項>

- 第1号議案 本法人の運営について、外部へ公表することについて
- 第2号議案 短大第三者評価改善状況報告について
- 第3号議案 学校法人運営調査委員による調査結果改善状況報告について
- 第4号議案 大学の自己点検評価報告書について
- 第5号議案 短期大学の自己点検評価報告書について
- 第6号議案 理科実験実習室について
- 第7号議案 代々木ゼミナール校舎改築について
- 第8号議案 労働審判について

④第4回理事会（平成27年9月4日開催）

<報告事項>

- 第1号 会計処理等に関する実態調査票の文部科学省への提出について
- 第2号 裁判について
- 第3号 災害時における避難場所としての使用に関する協定について

<審議事項>

- 第1号議案 規則の改訂について
- 第2号議案 短期大学部3年制の指定保育士養成施設の定員変更について

⑤第5回理事会（平成27年11月20日開催）

<報告事項>

- 第1号 裁判について
- 第2号 新体育館建築設計計画について
- 第3号 通信教育課程の定員充足への取り組み状況について

<審議事項>

- 第1号議案 規程の改訂について
- 第2号議案 情報セキュリティポリシーについて
- 第3号議案 校舎の返却について
- 第4号議案 退職金規程の改正及び私立大学退職金財団の退職金資金交付率の改正への対応について
- 第5号議案 日本私立学校振興・共済事業団に提出する改善状況報告書について

⑥第6回理事会・第2回評議員会（平成28年1月29日開催）

【評議員会】

<審議事項>

- 第1号議案 寄附行為の変更について

【理事会】

<報告事項>

- 第1号 体育館の建設について
- 第2号 裁判について
- 第3号 保育児童学科の学部への改組について
- 第4号 短期大学部教職課程認定について
- 第5号 外国人研究生の増加について

<審議事項>

- 第1号議案 寄附行為の変更について
- 第2号議案 諸規則の改訂等について

⑦第7回理事会・第3回評議員会（平成28年3月23日開催）

【理事会】

<報告事項>

- 第1号 経常費補助金について
- 第2号 体育館の改築について
- 第3号 平成28年度役員会開催日程案について
- 第4号 人事について
- 第5号 新校舎の賃借について
- 第6号 多目的実習室の設置について

- 第7号 東京福祉大学短期大学部の第三者評価の適合判定について
- 第8号 改善意見等に対する改善状況等報告書について

＜審議事項＞

- 第1号議案 平成27年度収支補正予算について
- 第2号議案 平成28年度事業計画について
- 第3号議案 平成28年度収支予算について
- 第4号議案 「寄附行為を変更しないこと」及びテキスト発行先名称、価格について
- 第5号議案 学則等の変更について
- 第6号議案 諸規則の改訂等について
- 第7号議案 精神保健福祉士短期養成通信課程の設置について
- 第8号議案 学長の選考について

【評議員会】

＜報告事項＞

- 第1号 経常費補助金について
- 第2号 体育館の改築について
- 第3号 平成28年度役員会開催日程案について
- 第4号 人事について
- 第5号 新校舎の賃借について
- 第6号 多目的実習室の設置について
- 第7号 東京福祉大学短期大学部の第三者評価の適合判定について
- 第8号 改善意見等に対する改善状況等報告書について

＜審議事項＞

- 第1号議案 平成27年度収支補正予算について
- 第2号議案 平成28年度事業計画について
- 第3号議案 平成28年度収支予算について
- 第4号議案 「寄附行為を変更しないこと」及びテキスト発行先名称、価格について
- 第5号議案 学則等の変更について
- 第6号議案 諸規則の改訂等について
- 第7号議案 精神保健福祉士短期養成通信課程の設置について

2. 規則・規程の整備状況

学校法人茶屋四郎次郎記念学園規定集 「第1編 法人」では、新設5、改訂4、廃止0、「第2編 大学」では、新設2、改訂7、廃止1、「第3編 大学院」では、新設1、改訂3、廃止0、「第5編 短期大学部」では、新設2、改訂6、廃止1となっている。

・今年度中に整備施行された規則・規程で主要なものは次のとおり。

【第1編 法人】

事務組織規則、公印取扱規程、危機管理規則、情報システム運用センター規程、顧問契約規程、休業・休職者の給与及び欠勤等の給与減額に関する細則（旧規程名：休職者の給与及び、欠勤等の給与減額、特別休暇中の給与取扱い細則）、ホームページ等管理運用規程、個人情報保護規則

【第2編 大学】

学則、通信教育課程に関する規程、教育研究評議員会の委員会に関する規程、授業及び休講等に関する取扱内規、通信教育課程における試験及び学業成績判定に関する内規、授業料等の学費の納付等に関する規程、学内奨学金規程、学生懲戒規程、災害給付奨学金内規

【第3編 大学院】

学則、通信教育課程に関する規程、学内奨学金規程、災害給付奨学金内規

【第5編 短期大学部】

学則、通信教育課程に関する規程、授業及び休講等に関する取扱内規、通信教育課程における試験及び学業成績判定に関する内規、授業料等の学費の納付等に関する規程、学内奨学金規程、学生懲戒規程、災害給付奨学金内規

・今年度中に廃止された規則・規程は次のとおり。

【第2編 大学】

全学総務委員会に置く情報技術部会規程

【第5編 短期大学部】

短大総務委員会に置く短大情報技術部会規程

今後も引き続き規程の整備を進め、法人の管理運営体制等を支える土台・基本として充実させたい。

3. 監事監査等について

①監事監査

当年度は「監事監査規程」、監査年間計画に従って年4回の監事監査を実施した。調査の内容は、預金通帳等の管理状況、6月末、9月末、12月末の預金残高、規程の整備状況、経費等精算手続状況、カードの管理状況、内部監査の実施状況、中長期計画、実効性のある予算制度導入、期末監査などの確認を行った。

②内部監査

当年度は財務監査及び科学研究費補助金（以下「科研費」という。）に関する内部監査を実施した。

財務監査は、「学校法人茶屋四郎次郎記念学園 内部監査規程」に従い、4回実施した。監査項目は、現金預金管理が徹底されているかの確認、実印や銀行印などの管理が徹底されているかの確認、クレジットカードの利用内容の確認、公用車の管理状況の確認を行った。

科研費に関する内部監査は、「東京福祉大学 公的研究費運営管理規則」に従い、9月に1回実施した。監査項目は、財務課による自己点検の検証、科研費備品台帳の確認、検収業務担当者への聴き取り調査、サンプルを抽出した上で実際の研究費使用状況や納品状況等についての事実関係の確認を行った。

4. その他

①東日本大震災及び原発事故の被災者のための授業料免除措置を引き続き実施した。また平成27年9月関東・東北豪雨による災害被災者への奨学金の給付を実施した。

決算の概要

平成27年度の決算の状況について前年度と対比して、その概要を報告いたします。

1. 資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部				
科 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年比
学生生徒等納付金収入	6,408,026	6,554,925	6,649,609	94,684
手数料収入	138,583	126,596	152,401	25,805
寄付金収入	0	10,000	0	△ 10,000
補助金収入	200,459	421,747	519,398	97,651
資産売却収入	0	0	110	110
受取利息・配当金収入	714	678	684	6
雑収入	37,057	55,327	67,585	12,258
借入金等収入	2,501,000	1,059,000	872,000	△ 187,000
前受金収入	2,597,922	2,720,149	2,980,697	260,548
その他の収入	92,298	71,741	188,170	116,429
資金収入調整勘定	△ 2,669,155	△ 2,658,552	△ 2,779,141	△ 120,589
前年度繰越支払資金	4,492,266	4,149,666	4,324,377	174,711
収入の部合計	13,799,170	12,511,277	12,975,890	464,613

支出の部				
科 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年比
人件費支出	3,575,139	3,771,015	3,596,008	△ 175,007
教育研究経費支出	1,781,872	1,839,382	2,047,970	208,588
管理経費支出	1,250,436	1,023,291	1,118,412	95,121
借入金等利息支出	21,418	34,693	41,111	6,418
借入金等返済支出	1,079,500	39,500	152,567	113,067
施設関係支出	1,596,467	2,242,869	181,582	△ 2,061,287
設備関係支出	333,801	250,307	118,111	△ 132,196
その他の支出	531,462	561,725	1,680,366	1,118,641
資金支出調整勘定	△ 520,591	△ 1,575,882	△ 560,132	1,015,750
翌年度繰越支払資金	4,149,666	4,324,377	4,599,895	275,518
支出の部合計	13,799,170	12,511,277	12,975,890	464,613

資金収支計算書は当該会計年度の学園諸活動に対応するすべての収支の内容を明らかにし、当該会計年度における支払資金の顛末を表すものです。

前年度繰越支払資金を除いた当年度収入は8,651,513千円で、昨年度比289,902千円の増加となりました。収入の大部分を占める学生生徒等納付金収入は増加、また手数料収入、補助金収入、前受金収入等も増加しています。

翌年度繰越支払資金を除く当年度支出は8,375,995千円、収支差額は275,518千円の収入超過となり、翌年度繰越支払資金(貸借対照表流動資産の現金預金の額と一致)は4,599,895千円となりました。

2.事業活動収支計算書

(単位:千円)

教育活動収支	収入	科目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年比
		学生生徒等納付金	6,408,026	6,554,925	6,649,609	94,684
		手数料	138,583	126,596	152,401	25,805
		寄付金	750	10,000	0	△ 10,000
		補助金	200,459	421,747	519,398	97,651
		雑収入	124,340	69,415	75,211	5,796
		教育活動収入計	6,872,158	7,182,683	7,396,619	213,936
	支出	科目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年比
		人件費	3,575,139	3,771,015	3,734,664	△ 36,351
		教育研究経費	2,046,101	2,135,529	2,380,248	244,719
管理経費		1,276,299	1,049,695	1,136,997	87,302	
徴収不能額		30,791	9,758	11,350	1,592	
	教育活動支出計	6,928,330	6,965,997	7,263,259	297,262	
	教育活動収支差額	△ 56,172	216,686	133,360	△ 83,326	
教育活動外収支	収入	科目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年比
		受取利息・配当金	714	678	684	6
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0
		教育活動外収入計	714	678	684	6
	支出	科目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年比
		借入金等利息	21,418	34,693	41,111	6,418
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0
	教育活動外支出計	21,418	34,693	41,111	6,418	
	教育活動外収支差額	△ 20,704	△ 34,015	△ 40,427	△ 6,412	
経常収支差額		△ 76,876	182,671	92,933	△ 89,738	
特別収支	収入	科目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年比
		資産売却差額	0	0	110	110
		その他の特別収入	0	0	0	0
		特別収入計	0	0	110	110
	支出	科目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年比
		資産処分差額	34,362	3,307	3,050	△ 257
その他の特別支出		0	0	0	0	
	特別支出計	34,362	3,307	3,050	△ 257	
	特別収支差額	△ 34,362	△ 3,307	△ 2,940	367	
基本金組入前当年度収支差額		△ 111,238	179,364	89,993	△ 89,371	
基本金組入額合計		△ 270,402	△ 405,229	△ 545,190	△ 139,961	
当年度収支差額		△ 381,640	△ 225,865	△ 455,197	△ 229,332	
前年度繰越収支差額		△ 1,442,291	△ 1,823,931	△ 2,049,796		
翌年度繰越収支差額		△ 1,823,931	△ 2,049,796	△ 2,504,993		

事業活動収支計算書は、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の三つの活動に対応する事業活動収入・支出の内容及び均衡を明らかにするものです。事業活動収入は学校法人の負債としない収入であり、収益といえます。事業活動支出は学校法人が当該会計年度において消費する資産の取得価額と用役の対価であり、費用といえます。

三つの活動ごとに収入・支出を計上し、差額計算を行い、基本金組入前当年度収支差額を算出し、そこから基本金(学校法人が諸活動の計画に基づき、教育研究の維持・充実に必要な資産を継続的に保持するための金額)に組入れる額を控除し、当年度収支差額を算出します。

平成27年度の事業活動収入は三つの活動合計で7,397,413千円となり、前年比で214,052千円の増加となりました。収入の大部分を占める学生生徒等納付金は学生数の増加により前年比94,684千円の増加となりました。補助金収入も97,651千円増加しています。

平成27年度の事業活動支出は三つの活動合計で、7,307,420千円となり、前年比で303,423千円の増加となりました。教育研究費が244,719千円増加、管理経費が87,302千円増加しています。

以上から平成 27 年度の基本金組入前当年度収支差額は 89,993 千円の収入超過となりました。基本金組入後の当年度収支差額は 455,197 千円の支出超過となり、前年度からの繰越収支差額は△2,049,796 千円でしたが、当年度の支出超過を受け、翌年度繰越収支差額は△2,504,993 千円となりました。

3. 貸借対照表

(単位:千円)

資産の部				
科 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年比
固定資産	7,349,522	9,506,434	9,467,538	△ 38,896
有形固定資産	6,815,807	8,985,549	8,933,819	△ 51,730
その他固定資産	533,715	520,885	533,719	12,834
流動資産	4,301,455	4,524,255	4,804,104	279,849
現金預金	4,149,666	4,324,377	4,599,895	275,518
その他流動資産	151,789	199,878	204,209	4,331
資産の部合計	11,650,977	14,030,689	14,271,642	240,953
負債の部				
科 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年比
固定負債	1,651,333	2,684,478	3,600,391	915,913
長期借入金	1,647,500	2,667,000	3,386,433	719,433
長期未払金	3,833	17,478	12,650	△ 4,828
退職給与引当金	0	0	201,308	201,308
流動負債	3,127,945	4,295,149	3,530,197	△ 764,952
短期未払金	450,639	1,495,522	466,810	△ 1,028,712
前受金	2,597,922	2,720,149	2,980,697	260,548
預り金	79,384	79,478	82,690	3,212
負債の部合計	4,779,278	6,979,627	7,130,588	150,961
純資産の部				
科 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年比
基本金	8,695,629	9,100,858	9,646,047	545,189
第1号基本金	8,208,629	8,552,858	9,093,047	540,189
第4号基本金	487,000	548,000	553,000	5,000
繰越収支差額	△ 1,823,931	△ 2,049,796	△ 2,504,993	△ 455,197
翌年度繰越収支差額	△ 1,823,931	△ 2,049,796	△ 2,504,993	△ 455,197
純資産の部合計	6,871,698	7,051,062	7,141,054	89,992
負債及び純資産の部合計	11,650,977	14,030,689	14,271,642	240,953

貸借対照表は、年度末における学校法人の財政状況を表した計算書類です。

資産と負債、純資産(基本金、繰越収支差額)の状態を表示するものであり、資産の部合計＝負債の部合計＋純資産の部合計となっています。

資産総額は 14,271,642 千円で前年比 240,953 千円の増加となりました。現金預金が 275,518 千円増加しています。

負債総額は 7,130,588 千円で前年比 150,961 千円の増加となりました。王子キャンパス新校舎の建設費用としての借入を行い長期借入金が 719,433 千円の増加、退職給与引当金が 201,308 千円増加、前受金が 260,548 千円増加しており、短期未払金が 1,028,712 千円減少しています。

純資産の部では、基本金が 9,646,047 千円で前年比 545,189 千円増加しました。これは施設設備、機器備品などの増加組入、借入金返済に係る組入により、第1号基本金が増加したためです。基本金と繰越収支差額の合計である純資産の額は 7,141,054 千円となっています。